

新規就農者激励事業

1月29日(火)、鏡野町役場応接室において、新規就農者の奨励金交付及び激励式が行われ、田宗寺の友保実穂さんが山崎町長より奨励金の交付を受けました。

鏡野町では新たに就農された方が将来にわたり専業として農業経営を続け、自信と誇りをもって経営を確立するとともに、地域農業発展の中核的担い手になってもらうよう就農奨励金を交付し、新規就農者の支援を行っています。

友保さんは、40年ほど前にご両親が始められた和牛生産の仕事を継ごうと決心されて、一昨年の12月に就農されました。

山崎町長から「しっかりとした信念を持って折れない気持ちも同時に養いながら、技術力を高めていただきたいと思います。」と激励の言葉をいただき、友保さんは「父がやってきたことをきちんと継いで、また次の世代に渡していけるよう頑張っていきたいと思います。」と抱負を語りました。

町新規就農激励事業 奨励金交付



交通安全用品の寄贈

1月28日(月)、鏡野町役場応接室において、津山農業協同組合の田中千秋常務理事から、交通安全雨傘や蛍光タスキといった交通安全用品が寄贈されました。

交通安全用品を受け取った山崎町長は、「この度はJA津山のほうから交通安全用品を寄贈して下さってありがとうございます」とお礼を述べ、寄贈した田中千秋常務理事は、「交通安全に役立てて下さい」と話していました。



災害用備蓄物資の寄贈

2月8日(金)、鏡野町役場応接室において、津山農業協同組合の中西直政専務から非常用給水袋(6L)1,500個、非常用トイレセット(5回分)1,260セットの災害用備蓄物資が寄贈されました。

物資を受けとった山崎町長は、「寄贈いただいたありがとうございます。」「これが使われることがあってはいいのですが、そういうときのための備蓄の品物として活用していただきたいと思います。」と話されました。



奥津小学校節分

2月1日(金)、奥津小学校で1年生の行事である節分の豆まきが行われました。

児童たちが描いた鬼の顔を身につけた鬼に扮する教頭先生が教室に現れ、「心の中の鬼がやってきたぞー」と児童たちを追い回すと、児童たちは大きな声で「鬼は外!鬼は外!」と言いながら、自分の描いた鬼に向けて豆を投げつけました。

ひとしきり豆をおつけられた鬼はたまらず退散していき、児童たちは無事鬼を追い払うことができました。

